## 海部郡沿岸海藻植生調查

## 廣澤 晃・谷本 剛

近年,大型海藻の減少が県南海域で問題となっている。また,これら海藻を餌とするアワビ類の減少傾向もあり,藻場の減少が磯根生物の資源量の低下につながることが懸念されている。大型海藻の消長は,水温などの海洋環境の変動に影響されると考えられ,長期間にわたる海藻植生の変化をモニタリングすることにより,どのような過程をたどり海藻植生が変遷するのかを考察することは,今後,藻場を造成していく上で重要な指標となる。このため,海部郡沿岸に調査定点を定め,海藻植生についての継続的な調査をおこなう。

## 方 法

調査地点は,美波町阿部地先,美波町内磯地先,牟岐町 古牟岐地先に設定した調査定線である(図1)。調査定線 での植生調査は,美波町地先が平成12年度から,牟岐町地 先は平成13年度から毎年同じ時期に実施している。本年度 の調査は,6月6日,7日の2日間行った。調査方法はス キューバ潜水により水深ごとの海藻の種類と被度を記録 し,基質の種類も併せて記録した。



図 1 海部郡海藻植生調査地点図

## 結果と考察

表1に美波町阿部地先の調査定線での海藻分布を示した。この場所は、水深1.6mから水深9.6mまでの切り立った崖である。大型褐藻類の分布は、ホンダワラ科では、エンドウモク、アカモク、ヨレモクモドキ、マメタワラがみられる。前年に比べて水深1.6m~2.7mのエンドウモク、マメタワラの被度が増加し、アカモクの被度が減少した。コンプ科では、サガラメ、カジメがみられ、水深5.8mまではサガラメが多く、深くなるにしたがってカジメが優占している。前年に比べてサガラメ、カジメとも被度が増加した。(図2、写真1)

表 2 に美波町内磯地先の調査定線での海藻分布を示した。この場所は、水深1.6m~6.4mの岩礁で、同規模の磯が付近に多くある地形である。大型褐藻類の分布は、ホンダワラ科では、オオバモクがみられる。前年に比べて水深1.6~3.2mのオオバモクの被度が増加した。コンプ科では、サガラメ、カジメ、クロメがみられる。前年に比べて、サガラメの被度が減少し、カジメでは水深3.2~4.3mで被度が増加し、クロメでは水深6.0~6.4mで被度が増加した。なお、定線周辺ではパッチ状にサガラメの食害がみられた。(図 3 、写真 2 )

表3,表4に牟岐町古牟岐地先の調査定線での海藻分布を示した。この場所は、水深1.6m~3.6mの岩礁であり、二つの定線が、平行して数メートル離れて設けられている(定線A,B)。定線Aは、大型褐藻類のサガラメが優占する。サガラメの被度は前年に比べて減少した。定線Bでは、紅藻類のマクサが優占するテングサ場である。マクサの被度は減少傾向にある。また、定線周辺ではヘライワヅタが点在していた。(図4-5,写真3-4)

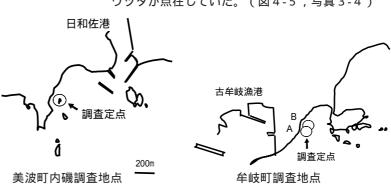


表1 美波町阿部地先のモニタリング地点における海藻の分布

距離(m)	QΩ		1.8		65		105		120		17.0
水深(m)	16		2.7		58		82		93		9.6
岩の割合(%)		100		100		100		100		30	
転石の割合(%)										15	
巨礫の割合(%)										40	
大礫の割合(%)										10	
小礫の割合(%)										5	
砂の割合(%)											
サナダグサ		+									
アミジグサsp.		5		+						+	
ヒラネジモク		+									
フクロ <i>ノ</i> リ カゴメノリ		+		+		+		+			
マメタワラ		5									
ワツナギソウ		+									
イギス科		+									
カイノリ		+									
スギノリ ソゾsp.		+									
ワカメ		+									
フクリンアミジ		+		+						+	
アミジグサ		5									
トサカマツ		+		+							
<b>エンドウモク</b> オゴ <i>リ</i> Jsp.		<u>40</u> 5		+							
<u>オコグラン</u> オニクサ		+		<del>+</del> 5		+					
キブリモサズキ		15		5		+					
アカモク		10		+							
ウスカワカニノテ		50		40		20		10			
<u>フサカニノテ</u>		10		5		+		5			
<u>アナアオサ</u> オバクサ		+		+						+	
ヒメカニノテ		+		5		5		+		+	
ウミウチワ				+		+				+	
マクサ		+		+		+					
サガラメ		10		30		10		+		5	
<b>ヨレモクモドキ</b> イワ <i>J</i> カワ科		20 +		60 +		30		20		<del>+</del> 20	
ヒメモサズキ		+		+		+		5		5	
ピリヒバ		+		5		5		+		+	
無節サンゴモ		20		30		40		40		40	
ユカリ				+							
<u>ホソバノトサカモドキ</u>				+							
フダラク オオシコロ				+		+					
<u> マガリカニ /テ</u>				+		т_		5			
ハイヨル				+		+		+			
シマオオギ				+		+		+		+	
<u>タマゴバロニア</u>				+		+					
<u>カジメ</u>				5		60		40		15	
<u>ユイキリ</u> ヘリトリカニ <i>リ</i> テ				<del>+</del> 20		10		5 10		+	
キントキ				+		+		10		+	
カニ <i>ノ</i> テ				+		5		20		10	
ナミイワタケ						+					
エツキイワ <i>/</i> カワ						+		+			
タマミル						+		+			
オラガラ								+		+	
<u>ガラガラ</u> オオバモク										+	
<u>オカハモク</u> + 5%未満										7	
. ~/0/1//100											

表 2 美波町内磯地先のモニタリング地点における海藻の分布

距離(m)	0.0		20		5.7		11 D		14 D	20 Ω
水深(m)	1.6		16		32		43		6.0	6.4
岩の割合(%)	. ~	100	. ~	100		100		95	0.2	<u> </u>
転石の割合(%)		100		100		100		33		10
巨礫の割合(%)								5		30
大礫の割合(%)								+		0
小礫の割合(%)						+		+	2	20
砂の割合(%)						+				
ワカメ				+						
マクサ		+		+				+		+
フトジュズモ ヒメモサズキ		+		+						
オゴルsp.		+ 5		+						+
オオバモク		30		25		+		+		+
トサカマツ		5		<u> 25</u> 5		+		+		+
フサカニ <i>ノ</i> テ		5		+		10		5		+
ピリヒバ		30		40		5		+		
ヘラヤハズ		+		+		+		+		
タンバ ノリ		+		+						
サガラメ		60		70		30		10		5
オニクサ		40		30		+		+		+
無節サンゴモ		30		40		75		75		0
<u>イワノカワ科</u>		+		+		5		+		5
<u>ウスカワカニ /テ</u>		20		20		+		+		+
キブリモサズキ		5		10		+		+		+
シマオオギ				+						
<u>アナアオサ</u> スジウスバ <i>リ</i> リ				+		-				
メジリスハフリ ソゾsp.				+		+				+
<u> </u>				+						+
ユカリ				+						
カジメ						40		20	1	0
タマバロニア				+						
ウミウチワ				+						
モサズキsp.				+						
サナダグサ		+		+		+				
ユイキリ				+		+				
マガリカニ ノテ						5		+		
<u>クロメ</u>						20		30		0
キントキ						+		+		<u>+</u>
ホソバノトサカモトキ						+		+		+
<u>ハイミル</u> ヒメカニ <i>ノ</i> テ								+		
성의) - (소)						+		+		<del>+</del> +
フクリンアミジ		+		+						<del></del>
ヘリトリカニノテ		т		т						 5
1717/3-77										

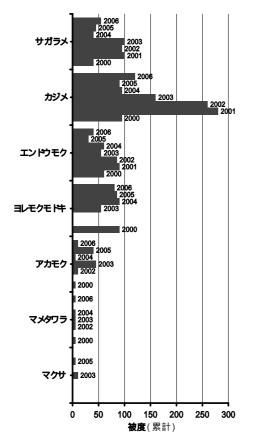
表3 牟岐町古牟岐地先のモニタリングA地点における海 藻の分布

距離(m)	Ω0		63		83		97
水深(m)	16		23		32		3.4
岩の割合(%)		100		100		100	
転石の割合(%)							
巨礫の割合(%)							
大礫の割合(%)							
小礫の割合(%)							
砂の割合(%)							
<u>シオグサsp.</u>		+					
フタエオオギ		+					
サナダグサ		+					
ナミハナ		+					
ヒトソマツ		+					
マサゴシバリ		+					
<u>コザネモ</u>		+					
ホソバノトサカモトキ		+					
オゴルsp.		+					
フトジュズモ		+					
オニクサ		+					
サガラメ		80					
<u>ヤナギモク</u>		10					
ユカリ		+					
オバクサ		+		+			
ヘリトリカニ <i>ノ</i> テ		10		30			
<u>キブリモサズキ</u>		+		+			
ウスカワカニ <i>ノ</i> テ		+		10			
マガリカニ <i>ノ</i> テ		+		+			
<u> ヒメカニ /テ</u>		+		+			
オオシコロ		30		+			
<u>ヘラヤハズ</u>		+		25			
マクサ		+		10		5	
無節サンゴモ		75		40		50	
<u>イワ /カワ科</u>		10		5		10	
ピリヒバ		+		30		5	
チャボキントキ				+			
ウスバガラガラ				+			
ソデガラミ				+			
ヒメモサズキ				5			
ウミウチワ				20			
ガラガラ				+			
スジムカデ ノリ				+		10	
スギ <i>ハ</i> リ				+		5	
						_	

+ 5%未満

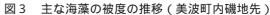
表 4 牟岐町古牟岐地先のモニタリング B 地点における海 藻の分布

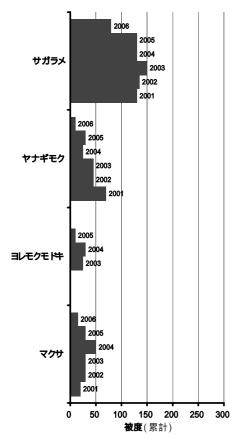
距離(m)	QΩ		22		6 D		11 D		15 D
水深(m)	16		23		3.1		35		36
岩の割合(%)		100		100		100		80	
転石の割合(%)									
巨礫の割合(%)								5	
大礫の割合(%)								+	
小礫の割合(%)								10	
<u>小味の割合(%)</u> 砂の割合(%)								5	
オニクサ		5						3	
シマオオギ		+							
ユカリ		+							
フサイワズタ		+							
コザネモ		+							
オオバモク		10		+					
サガラメ		40		5					
<u>ヨレモクモドキ</u>		5		10		+			
サナダグサ		+		+		+			
アミジグサsp.		+		+		+			
オオシコロ		10		5		5			
ヘリトリカニ <i>ノ</i> テ ナミイワ <i>タ</i> ケ		5		20		30			
<u>ナミイワタケ</u> ヒメカニ <i>ノ</i> テ		+ 5		+		+			
		20		20		+ 25			
<u>ウスカワカニ<i>ノ</i>テ</u> ヘラヤハズ		<u>20</u> 5		25		30		+	
ヒメモサズキ		+		5		+		25	
ピリヒバ		5		5		+		5	
イワ <i>/</i> カワ科		+		+		5		20	
マクサ		20		60		25		5	
無節サンゴモ		40		50		40		50	
ヤツマタモク				+					
エンドウモク				+					
カタソゾ				+					
フクロノリ				+					
フトジュズモ				+		+			
ソデガラミ				+		+			
ウミウチワ				+				+	
ヘライワズタ						+			
ヒラガラガラ						+		5	
ガラガラ						+		20	
スギル						+		5	
ナミハナ								+	
スジムカデ									



サガラメ 2006 2005 カジメ 2002 2001 2000 クロメ ワカメ オオバモク マクサ 100 150 200 250 300 50 被度(累計)

図2 主な海藻の被度の推移(美波町阿部地先)





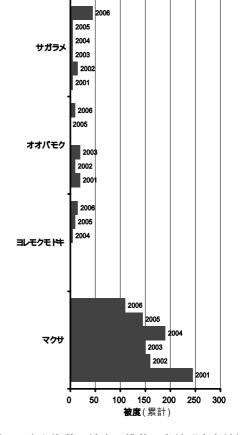
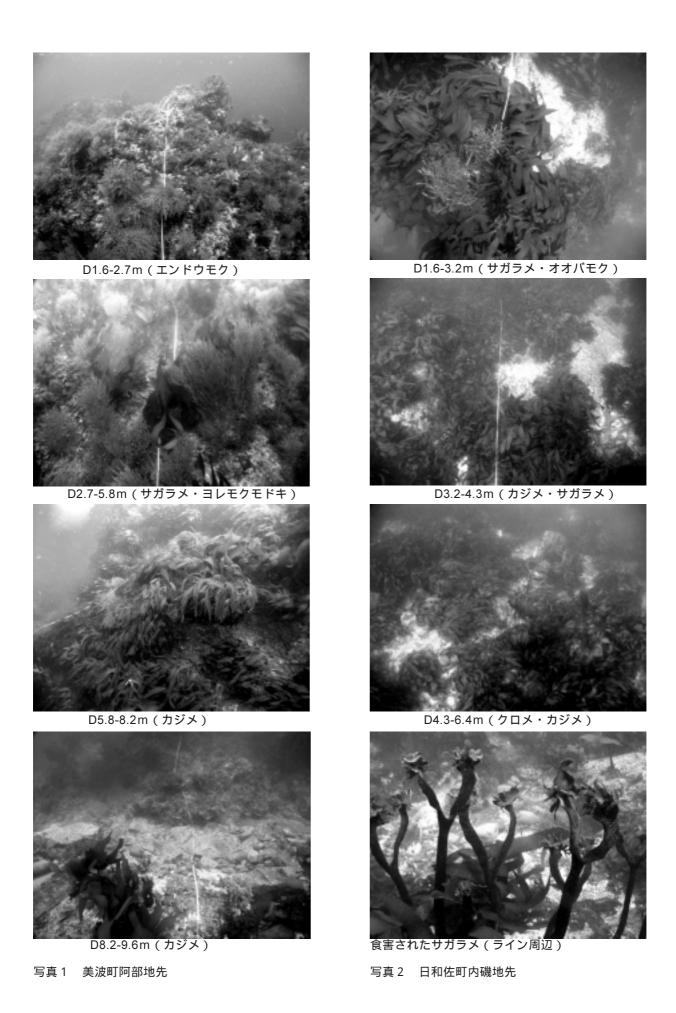
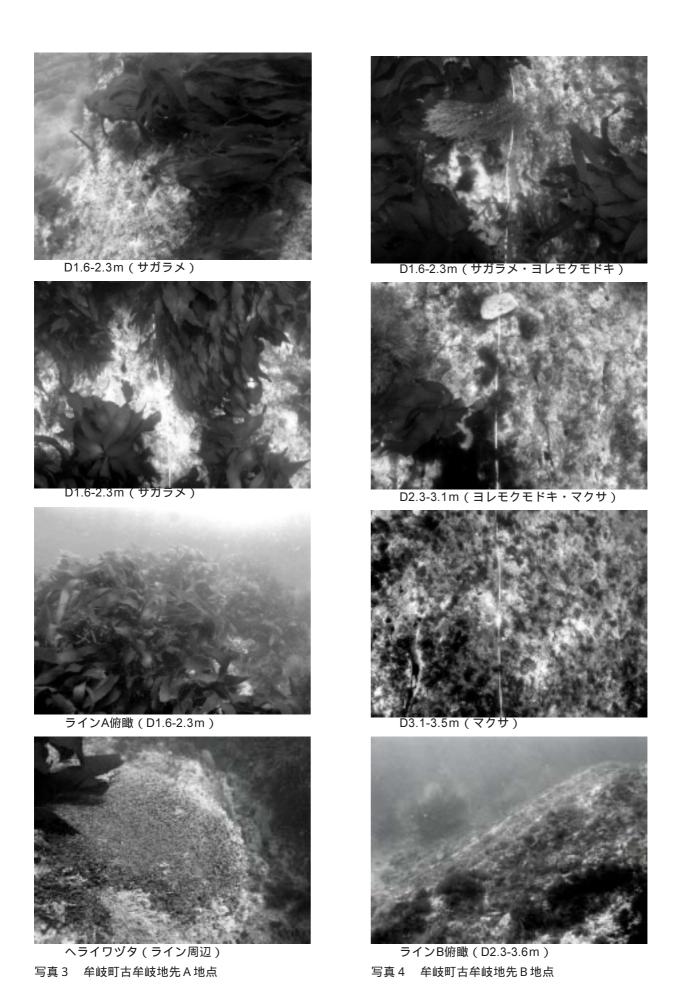


図4 主な海藻の被度の推移(牟岐町古牟岐地先A) 図5 主な海藻の被度の推移(牟岐町古牟岐地先B)



- 96 -



- 97 -